

## 第2編

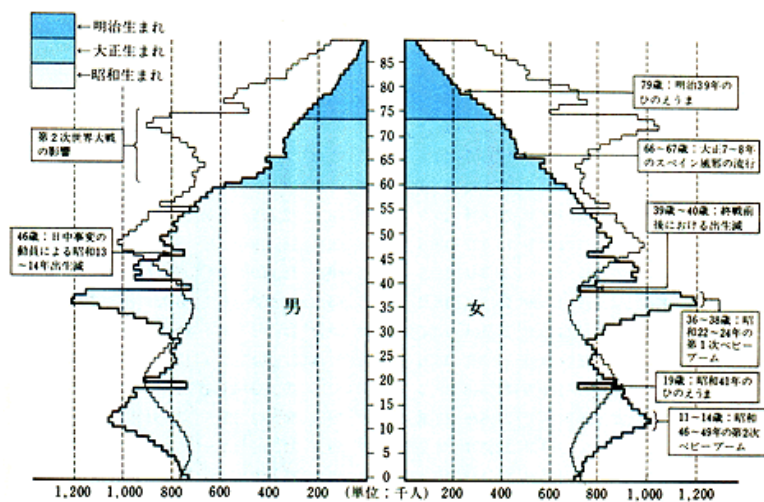
### 第1部 制度の概要及び基礎統計

#### 1 社会保障に関連する基礎資料

##### 1 人口,世帯

第1-1-1図 我が国の人口ピラミッド

第1-1-1図 我が国の人口ピラミッド



資料: 厚生省人口問題研究所「日本の将来推計人口(昭和61年12月推計)」

(注) —は昭和60年, —は昭和96年(老年人口比率がピーク)

第1-1-2表 年齢区分別人口の推移と将来推計

第 I - 1 - 2 表 年齢区分別人口の推移と将来推計

(単位：千人、%)

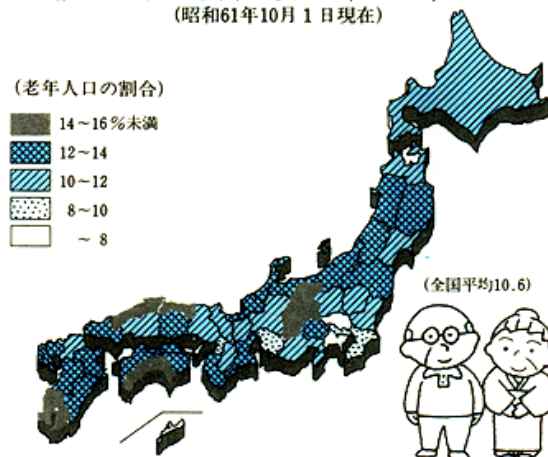
年次	総数		0歳～14歳		15歳～64歳		65歳以上		75歳以上(再掲)		平均年齢
	実数	構成割合	実数	構成割合	実数	構成割合	実数	構成割合	実数	構成割合	
大正9年(1920)	55,963	100.0	20,416	36.5	32,605	58.3	2,941	5.3	732	1.3	26.7
大正14年(1925)	59,737	100.0	21,924	36.7	34,792	58.2	3,021	5.1	808	1.4	26.5
昭和5年(1930)	64,450	100.0	23,579	36.6	37,807	58.7	3,064	4.8	881	1.4	26.3
10 (1935)	69,254	100.0	25,545	36.9	40,484	58.5	3,225	4.7	924	1.3	26.3
15 (1940)	73,075	100.0	26,369	36.1	43,252	59.2	3,454	4.7	904	1.2	26.6
25 (1950)	84,115	100.0	29,786	35.4	50,168	59.6	4,155	4.9	1,069	1.3	26.6
30 (1955)	90,077	100.0	30,123	33.4	55,167	61.2	4,786	5.3	1,411	1.6	27.6
35 (1960)	94,302	100.0	28,434	30.2	60,469	64.1	5,398	5.7	1,642	1.7	29.0
40 (1965)	99,209	100.0	25,529	25.7	67,444	68.0	6,236	6.3	1,894	1.9	30.3
45 (1970)	104,665	100.0	25,153	24.0	72,119	68.9	7,393	7.1	2,237	2.1	31.5
50 (1975)	111,940	100.0	27,221	24.3	75,807	67.7	8,865	7.9	2,841	2.5	32.5
55 (1980)	117,060	100.0	27,507	23.5	78,835	67.3	10,647	9.1	3,660	3.1	34.0
60 (1985)	121,049	100.0	26,033	21.5	82,506	68.2	12,468	10.3	4,712	3.9	35.7
61 (1986)	121,672	100.0	25,434	20.9	83,368	68.5	12,870	10.6	4,953	4.1	36.0
65 (1990)	124,225	100.0	23,132	18.6	86,274	69.4	14,819	11.9	5,917	4.8	37.4
70 (1995)	127,565	100.0	22,387	17.5	87,168	68.3	18,009	14.1	6,986	5.5	38.8
75 (2000)	131,192	100.0	23,591	18.0	86,263	65.8	21,338	16.3	8,452	6.4	39.8
80 (2005)	134,247	100.0	25,164	18.7	84,888	63.2	24,195	18.0	10,472	7.8	40.6
85 (2010)	135,823	100.0	25,301	18.6	83,418	61.4	27,104	20.0	12,456	9.2	41.5
88 (2013)	136,030	100.0	24,568	18.0	82,399	60.6	29,063	21.4	13,453	9.9	42.1
90 (2015)	135,938	100.0	23,876	17.6	81,419	59.9	30,643	22.5	13,894	10.2	42.4
95 (2020)	135,304	100.0	22,327	16.5	81,097	59.9	31,880	23.6	15,313	11.3	43.0
96 (2021)	135,160	100.0	22,153	16.4	81,141	60.0	31,866	23.6	15,239	11.3	43.1
100 (2025)	134,642	100.0	22,075	16.4	81,102	60.2	31,465	23.4	17,367	12.9	43.3
125 (2050)	128,681	100.0	21,967	17.1	76,433	59.4	30,281	23.5	17,005	13.2	43.0
150 (2075)	124,890	100.0	22,466	18.0	73,739	59.0	28,685	23.0	14,826	11.9	42.3
160 (2085)	124,066	100.0	22,277	18.0	74,473	60.0	27,316	22.0	15,310	12.3	42.3

資料：昭和60年以前は総務庁統計局「国勢調査」、昭和61年は総務庁統計局「推計人口」、昭和65年以降は厚生省人口問題研究所「日本の将来推計人口(昭和61年12月推計)」

- (注) 1. 各年10月1日現在  
 2. 昭和88年は総人口のピーク時、昭和96年は老年人口(65歳以上人口)割合のピーク時である。

第 I - 1 - 3 図 都道府県別老年人口(65才以上)の割合

第 I - 1 - 3 図 都道府県別老年人口(65才以上)の割合  
 (昭和61年10月1日現在)

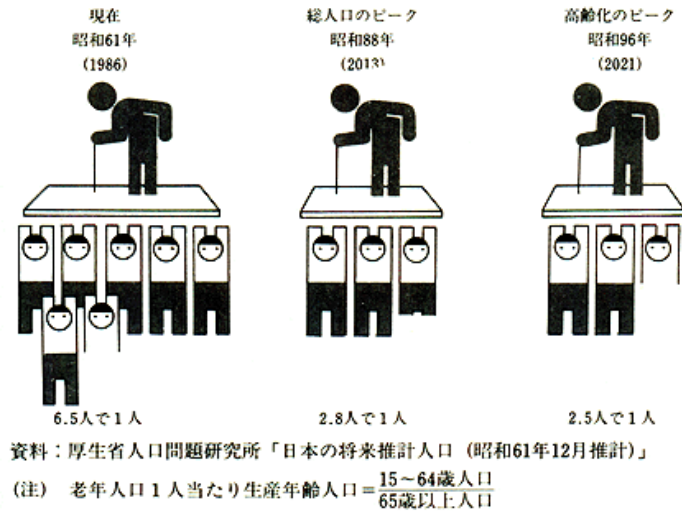


資料：総務庁統計局「推計人口」

(注) 老年人口の割合とは、総人口に占める65歳以上人口の割合をいう。

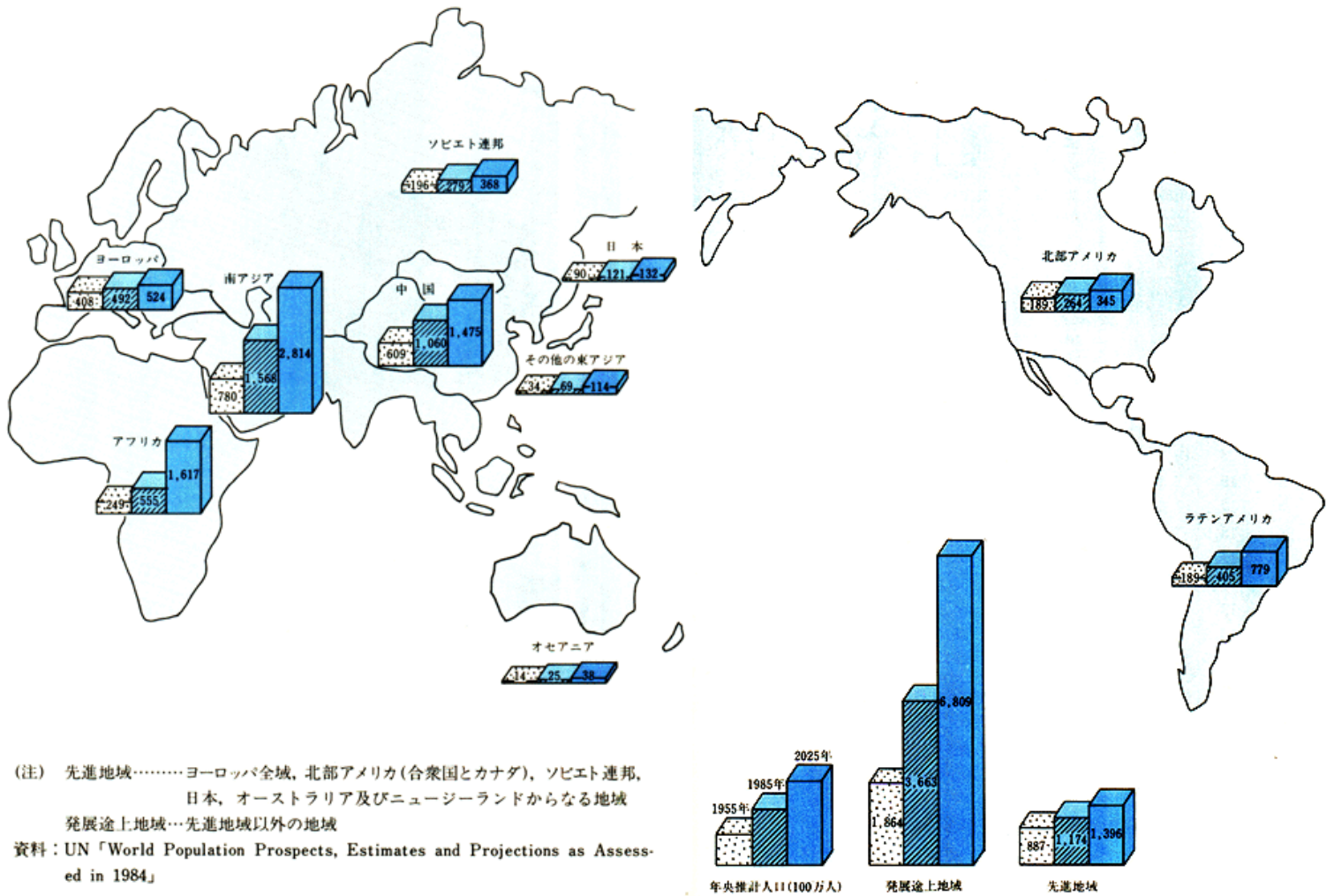
第 I - 1 - 4 図 老年人口1人当たり生産年齢人口の推移

第 I -1-4図 老年人口1人当たり生産年齢人口の推移



第 I -1-5図 世界の主要地域別人口の推移と将来予測







第 I -1-5図 世界の主要地域別人口の推移と将来予測



第 I -1-6表 人口動態率の推移

第 I-1-6表 人口動態率の推移

(昭和61年)

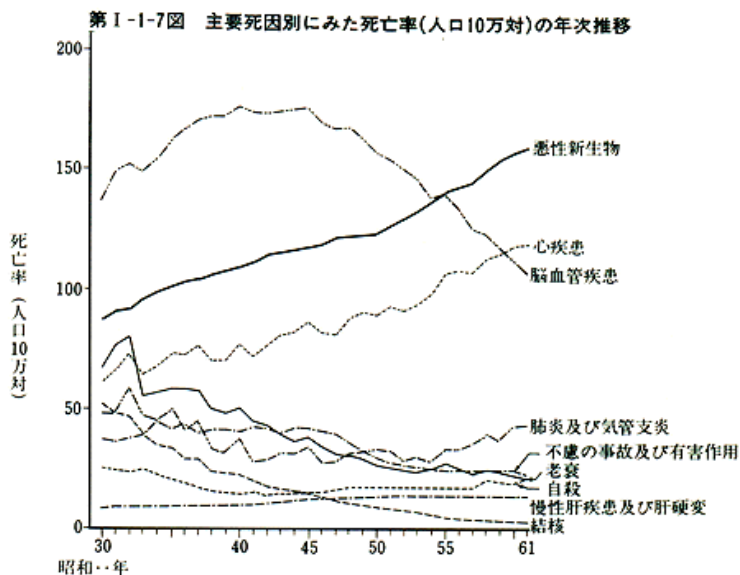
出生  1,382,946人 23秒に1人	死亡  750,620人 42秒に1人	乳児死亡  7,251人 72分29秒に1人	死産  65,678 8分に1胎	婚姻  710,962 44秒に1組	離婚  166,054 3分10秒に1組
---	---	--	--	---	--

年次	出生	死亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡	死産	周産期死亡	婚姻	離婚	合計特殊出生率
	(人口千対)			(出生千対)		(出産千対)	(出生千対)	(人口千対)		
昭和5年	32.4	18.2	14.2	124.1	49.9	53.4	...	7.9	0.80	4.71
15	29.4	16.5	12.9	90.0	38.7	46.0	...	9.3	0.68	4.11
22	34.3	14.6	19.7	76.7	31.4	44.2	...	12.0	1.02	4.54
25	28.1	10.9	17.2	60.1	27.4	84.9	46.6	8.6	1.01	3.65
30	19.4	7.8	11.6	39.8	22.3	95.8	43.9	8.0	0.84	2.37
35	17.2	7.6	9.6	30.7	17.0	100.4	41.4	9.3	0.74	2.00
40	18.6	7.1	11.4	18.5	11.7	81.4	30.1	9.7	0.79	2.14
45	18.8	6.9	11.8	13.1	8.7	65.3	21.7	10.0	0.93	2.13
50	17.1	6.3	10.8	10.0	6.8	50.8	16.0	8.5	1.07	1.91
55	13.6	6.2	7.3	7.5	4.9	46.8	11.7	6.7	1.22	1.75
60	11.9	6.3	5.6	5.5	3.4	46.0	8.0	6.1	1.39	1.76
61	11.4	6.2	5.2	5.2	3.1	45.3	7.3	5.9	1.37	1.72

資料：厚生省統計情報部「人口動態統計」、厚生省人口問題研究所「人口統計資料集」

- (注) 1. 自然増加とは、年間出生数から年間死亡数を差し引いたものである。  
 2. 乳児死亡とは、生後1年未満の死亡をいう。  
 3. 新生児死亡とは乳児死亡のうち4週未満の死亡をいい、さらに1週未満の死亡を早期新生児死亡という。  
 4. 死産とは、妊娠満12週以後の死産の出産をいう。  
 5. 周産期死亡とは、妊娠満28週以後の死産と生後1週未満の早期新生児死亡をいう。  
 6. 合計特殊出生率とは、その年における女子の年齢別出生率を合計した値で、年齢構造の影響を除いた出生率の水準を示す指標である。  
 7. 昭和15年以前及び昭和50年以降は沖縄県を含む。

第 I-1-7図 主要死因別にみた死亡率(人口10万対)の年次推移



主要死因別にみた死亡率(人口10万対)の年次推移



主要死因別にみた死亡率(人口10万対)の年次推移

死 因 名	昭和30年	35	40	45	50	55	60	61
悪性新生物	87.1	100.4	108.4	116.3	122.6	139.1	156.1	158.5
脳血管疾患	136.1	160.7	175.8	175.8	156.7	139.5	112.2	106.9
心疾患	60.9	73.2	77.0	86.7	89.2	106.2	117.3	117.9
肺炎及び気管支炎	48.3	49.3	37.3	34.1	33.7	33.7	42.7	43.9
不慮の事故及び有害作用	37.3	41.7	40.9	42.5	30.3	25.1	24.6	23.7
自殺	25.2	21.6	14.7	15.3	18.0	17.7	19.4	21.2
慢性肝疾患及び肝硬変	8.6	9.7	10.0	12.5	13.6	14.2	14.3	14.0
老衰	67.1	58.0	50.0	38.1	26.9	27.6	23.1	22.2
結核	52.3	34.2	22.8	15.4	9.5	5.5	3.9	3.4

資料：厚生省統計情報部「人口動態統計」

第 I-1-8表 平均余命の年次推移

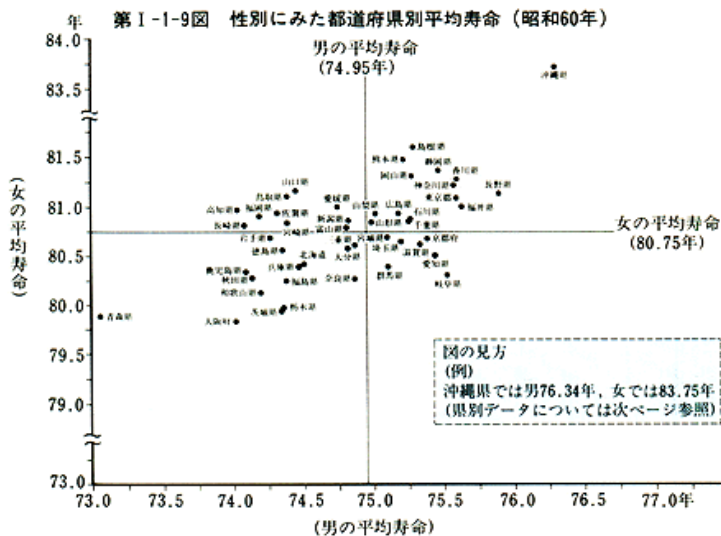
第 I-1-8表 平均余命の年次推移

作成年次	男				女			
	0歳	60歳	65歳	75歳	0歳	60歳	65歳	75歳
明治24年～31年 (第1回生命表)	42.8	12.8	10.2	6.2	44.3	14.2	11.4	6.7
大正15年～昭和5年 (第5回生命表)	44.82	12.23	9.64	5.61	46.54	14.68	11.58	6.59
30年 (第10回生命表)	63.60	14.97	11.82	6.97	67.75	17.72	14.13	8.28
40年 (第12回生命表)	67.74	15.20	11.88	6.63	72.92	18.42	14.56	8.11
50年 (第14回生命表)	71.73	17.38	13.72	7.85	76.89	20.68	16.56	9.47
55年 (第15回生命表)	73.35	18.31	14.56	8.34	78.76	21.89	17.68	10.24
60年 (第16回生命表)	74.78	19.34	15.52	8.93	80.48	23.24	18.94	11.19
61年 (簡易生命表)	75.23	19.70	15.86	9.24	80.93	23.62	19.29	11.45

資料：厚生省統計情報部「生命表」、「簡易生命表」

(注) 50年からは沖縄県を含む。

第 I-1-9図 性別にみた都道府県別平均寿命



資料：厚生省統計情報部「昭和60年地域別生命表」

(注) 1. 平均寿命とは、0歳の平均余命をいう。

2. 全国値が完全生命表の値と異なるのは、地域別生命表の作成に用いた基礎資料の期間が異なることによる。

第 I-1-10表 都道府県別平均寿命の推移

第 I -1-10表 都道府県別平均寿命の推移

都道府県	男				女			
	昭和40年		昭和60年		昭和40年		昭和60年	
	平均寿命	順位	平均寿命	順位	平均寿命	順位	平均寿命	順位
全 国	67.74		74.95		72.92		80.75	
北海道	67.46	21	74.50	29	72.82	25	80.42	35
青森県	65.32	46	73.05	47	71.77	44	79.90	46
岩手県	65.87	44	74.27	39	71.58	45	80.69	26
宮城県	67.29	26	75.11	19	73.19	17	80.69	26
秋田県	65.39	45	74.12	42	71.24	46	80.29	40
山形県	66.49	40	74.99	22	71.94	43	80.86	21
福島県	66.46	42	74.38	34	72.04	41	80.25	42
茨城県	66.99	33	74.35	36	72.52	30	79.97	45
栃木県	66.47	41	74.36	35	72.44	34	79.98	44
群馬県	67.34	23	75.11	19	72.38	36	80.39	37
埼玉県	67.26	27	75.20	17	72.45	32	80.65	29
千葉県	67.71	18	75.27	15	73.29	15	80.88	20
東京都	69.84	1	75.60	5	74.70	1	81.09	11
神奈川県	69.05	3	75.59	6	74.08	2	81.22	7
新潟県	67.18	29	74.83	25	72.19	37	80.86	21
富山県	66.70	37	74.81	27	72.04	41	80.80	25
石川県	67.14	32	75.28	13	72.40	35	80.89	19
福井県	67.96	14	75.64	3	72.87	24	81.01	12
山梨県	67.56	20	75.02	21	73.29	15	80.94	15
長野県	68.45	9	75.91	2	72.81	26	81.13	9
岐阜県	68.90	5	75.53	7	73.03	20	80.31	39
静岡県	68.21	11	75.48	8	74.07	3	81.37	4
愛知県	69.00	4	75.44	9	73.67	7	80.51	34
三重県	68.61	7	74.87	23	73.32	11	80.61	31
滋賀県	67.26	27	75.34	11	72.48	31	80.63	30
京都府	69.18	2	75.39	10	73.75	6	80.68	28
大阪府	68.02	12	74.01	46	73.30	13	79.84	47
兵庫県	68.29	10	74.47	30	73.48	9	80.40	36
奈良県	67.97	13	74.87	23	72.89	23	80.27	41
和歌山県	67.75	17	74.19	40	73.57	8	80.13	43
鳥取県	67.18	29	74.40	32	73.39	10	81.11	10
島根県	67.77	16	75.30	12	73.01	21	81.60	2
岡山県	68.68	6	75.28	13	74.03	4	81.31	5
広島県	68.61	7	75.19	18	73.93	5	80.94	15
山口県	67.30	25	74.45	31	72.98	22	81.16	8
徳島県	66.69	38	74.35	36	72.14	38	80.56	33
香川県	67.67	19	75.61	4	73.16	18	81.28	6
愛媛県	67.81	15	74.75	28	73.30	13	81.01	12
高知県	66.94	34	74.04	45	73.32	11	80.97	14
福岡県	67.32	24	74.19	40	73.11	19	80.91	18
佐賀県	66.69	38	74.32	38	72.65	28	80.94	15
長崎県	66.29	43	74.09	43	72.06	40	80.81	24
熊本県	67.18	29	75.24	16	72.60	29	81.47	3
大分県	66.83	36	74.82	26	72.07	39	80.58	32
宮崎県	66.93	35	74.39	33	72.45	32	80.84	23
鹿児島県	67.36	22	74.09	43	72.71	27	80.34	38
沖縄県	・		76.34	1	・		83.70	1

資料：厚生省統計情報部「昭和60年地域別生命表」

(注) 昭和40年全国には沖縄県を含まない。

第2編

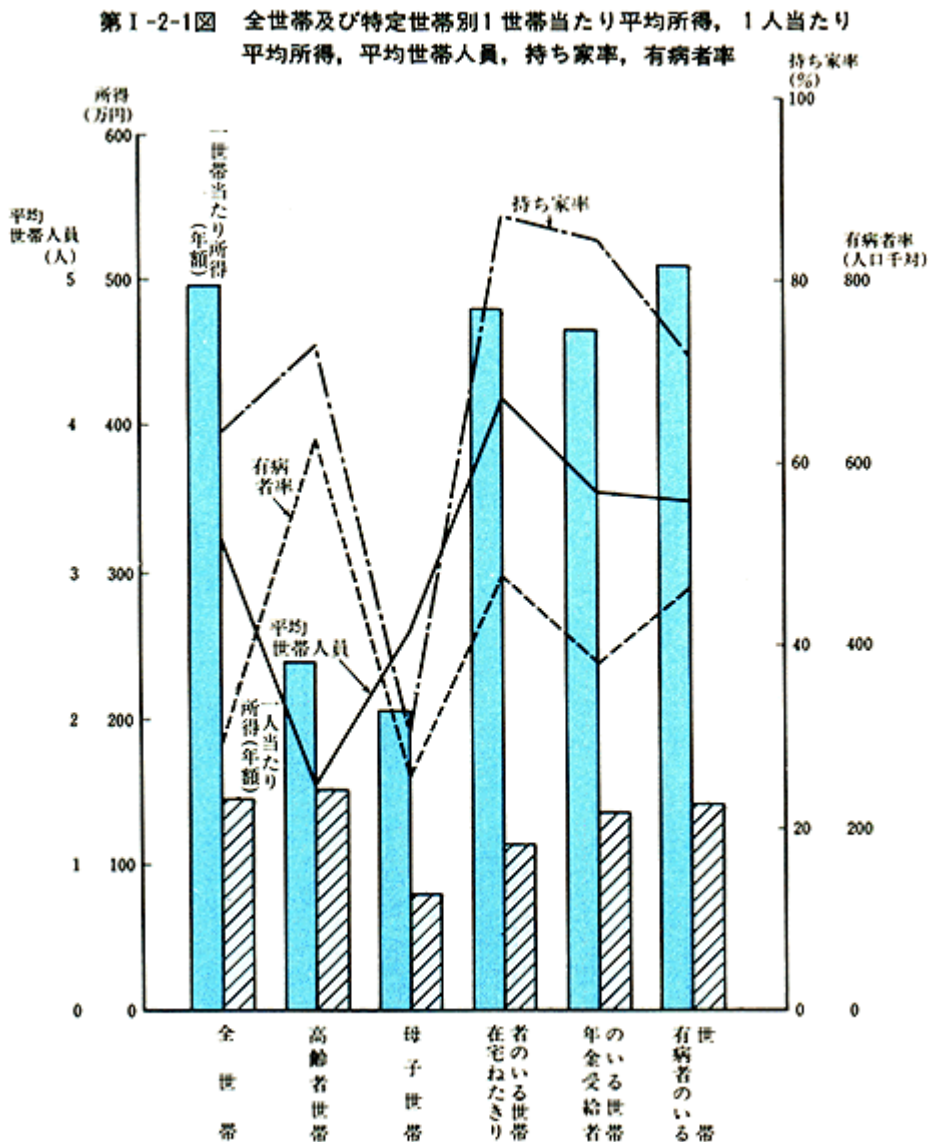
第1部 制度の概要及び基礎統計

1 社会保障に関連する基礎資料

2 国民生活基礎調査

1) 世帯の状況

第1-2-1図 全世帯及び特定世帯別1世帯当たり平均所得, 1人当たり平均所得,平均世帯人員,持ち家率,有病者率



資料：厚生省統計情報部「国民生活基礎調査」(昭和61年)

第1-2-2表 世帯類型別にみた世帯数の年次推移

第 I -2-2表 世帯類型別にみた世帯数の年次推移

(単位：千世帯)

年次	総数	高齢者世帯				母子世帯	父子世帯	その他の世帯
		総数	単身世帯	夫婦のみの世帯	その他			
昭和30年	18,963 (100.0)	425 (2.2)	—	—	—	486 (2.6)	18,052 (95.2)	
35	22,476 (100.0)	500 (2.2)	—	—	—	424 (1.9)	21,552 (95.9)	
40	25,940 (100.0)	799 (3.1)	—	—	—	335 (1.3)	24,806 (95.6)	
45	29,887 (100.0)	1,196 (4.0)	—	—	—	369 (1.2)	28,321 (94.8)	
50	32,877 (100.0)	1,619 (4.9)	818 (2.5)	725 (2.2)	76 (0.2)	371 (1.1)	64 (0.2)	30,823 (93.8)
55	35,338 (100.0)	2,424 (6.9)	1,204 (3.4)	1,120 (3.2)	100 (0.3)	452 (1.3)	97 (0.3)	32,365 (91.6)
60	37,226 (100.0)	3,110 (8.4)	1,442 (3.9)	1,544 (4.1)	125 (0.3)	506 (1.4)	99 (0.3)	33,511 (90.0)
61	37,544 (100.0)	3,320 (8.8)	1,614 (4.3)	1,546 (4.1)	160 (0.4)	597 (1.6)	115 (0.3)	33,513 (89.3)

資料：昭和60年までは厚生省統計情報部「厚生行政基礎調査」  
昭和61年は厚生省統計情報部「国民生活基礎調査」

第 I -2-3表 世帯構造別にみた世帯数の年次推移

第 I -2-3表 世帯構造別にみた世帯数の年次推移

(単位：千世帯)

年次	総数	単身世帯	核家族世帯				三世帯	その他の世帯
			総数	夫婦のみの世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	片親と未婚の子のみの世帯		
昭和30年	18,963 (100.0)	2,040 (10.8)	8,600 (45.4)				8,324 (43.9)	
35	22,476 (100.0)	3,894 (17.3)	10,058 (44.7)				8,523 (37.9)	
40	25,940 (100.0)	4,627 (17.8)	14,241 (54.9)	2,234 (8.6)	12,007 (46.3)		7,074 (27.3)	
45	29,887 (100.0)	5,542 (18.5)	17,028 (57.0)	3,196 (10.7)	12,301 (41.2)	1,531 (5.1)	5,739 (19.2)	1,577 (5.3)
50	32,877 (100.0)	5,991 (18.2)	19,304 (58.7)	3,877 (11.8)	14,043 (42.7)	1,385 (4.2)	5,548 (16.9)	2,034 (6.2)
55	35,338 (100.0)	6,402 (18.1)	21,318 (60.3)	4,619 (13.1)	15,220 (43.1)	1,480 (4.2)	5,714 (16.2)	1,904 (5.4)
60	37,226 (100.0)	6,850 (18.4)	22,744 (61.1)	5,423 (14.6)	15,604 (41.9)	1,718 (4.6)	5,672 (15.2)	1,959 (5.3)
61	37,544 (100.0)	6,826 (18.2)	22,834 (60.8)	5,401 (14.4)	15,525 (41.4)	1,908 (5.1)	5,757 (15.3)	2,127 (5.7)

資料：昭和60年までは厚生省統計情報部「厚生行政基礎調査」  
昭和61年は厚生省統計情報部「国民生活基礎調査」



第2編

第1部 制度の概要及び基礎統計

1 社会保障に関連する基礎資料

2 国民生活基礎調査

2) 健康の状態

第1-2-4表 年齢階級・傷病の有無別にみた世帯人員数・率

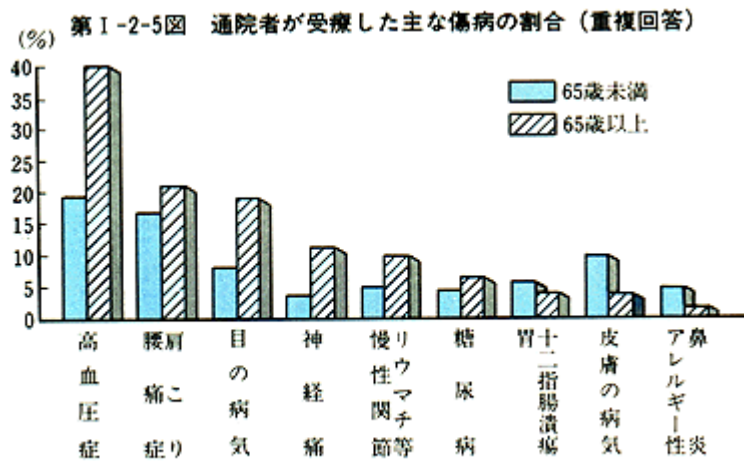
第1-2-4表 年齢階級・傷病の有無別にみた世帯人員数・率 (人口千対)

年齢階級	傷病あり	入院者	通院者	日常的 に就床の 状態の 者	その他	傷病なし	不詳	
								推計数 (千人)
総数	34,804	946	27,200	373	6,285	84,377	1,765	
0～4歳	1,170	17	833	14	306	6,098	115	
5～14	3,224	26	2,592	10	596	15,069	339	
15～24	2,588	41	1,790	6	751	13,983	327	
25～34	3,388	60	2,396	6	926	12,280	179	
35～44	4,734	78	3,422	9	1,225	15,109	241	
45～54	5,615	120	4,441	12	1,042	10,660	230	
55～64	5,946	147	4,975	34	790	6,839	179	
65～74	4,833	188	4,178	68	399	2,922	96	
75～84	2,765	204	2,235	131	195	1,144	45	
85歳以上 (再掲)	538	63	338	82	55	270	12	
65歳以上	8,137	455	6,751	282	649	4,337	153	
			率 (人口千対)					
総数	287.8	7.8	224.9	3.1	52.0	697.6	14.6	
0～4歳	158.5	2.4	112.8	1.9	41.4	825.9	15.6	
5～14	173.0	1.4	139.1	0.5	32.0	808.8	18.2	
15～24	153.1	2.4	105.9	0.4	44.4	827.5	19.4	
25～34	213.8	3.8	151.2	0.4	58.4	774.9	11.3	
35～44	235.7	3.9	170.4	0.4	61.0	752.3	12.0	
45～54	340.2	7.3	269.0	0.7	63.2	645.8	14.0	
55～64	458.7	11.4	383.7	2.6	61.0	527.5	13.8	
65～74	615.6	24.0	532.1	8.7	50.8	372.2	12.2	
75～84	699.4	51.7	565.3	33.2	49.2	289.4	11.3	
85歳以上 (再掲)	655.8	76.6	411.8	100.4	67.0	329.4	14.8	
65歳以上	644.4	36.1	534.7	22.3	51.4	343.5	12.1	

資料：厚生省統計情報部「国民生活基礎調査」(昭和61年)

(注) 総数には年齢不詳を含む。

第1-2-5図 通院者が受療した主な傷病の割合



資料：厚生省統計情報部「国民生活基礎調査」(昭和61年)

第2編

第1部 制度の概要及び基礎統計

1 社会保障に関連する基礎資料

3 主な経済指標

第1-3-1表 国民総生産,国民所得,物価上昇率,完全失業率の年次推移

年度	国民総生産(名目)		国民所得(分配)		物価 上昇率	完全 失業率
	総 数	対前年比	総 数	対前年比		
昭和27	6兆3730億円	—%	5兆2159億円	—%	3.6%	—%
28	7 5264	18.1	6 15	15.1	8.1	1.8
29	7 8246	4.0	6 5917	9.8	4.0	2.5
30	8 8646	13.3	7 2985	10.7	△1.3	2.6
31	9 9509	12.3	8 1734	12.0	1.3	2.2
32	11 2489	13.0	9 3547	14.5	2.5	1.9
33	11 7850	4.8	9 6161	2.8	△0.4	2.2
34	13 6089	15.5	11 233	14.6	1.8	2.0
35	16 2070	19.1	13 2691	20.4	3.8	1.5
36	19 8528	22.5	15 7551	18.7	6.2	1.4
37	21 6595	9.1	17 7298	12.5	6.7	1.3
38	25 5921	18.2	20 6271	16.3	6.6	1.2
39	29 6619	15.9	23 3904	13.4	4.6	1.1
40	33 5502	—	26 6045	—	6.4	1.3
41	39 4520	17.6	31 1049	16.9	4.7	1.3
42	46 1756	17.0	36 7765	18.2	4.2	1.2
43	54 6892	18.4	43 1249	17.3	4.9	1.1
44	64 8508	18.6	50 8591	17.9	6.4	1.1
45	75 1520	15.8	61 297	18.7	7.3	1.2
46	82 8063	10.2	65 9105	8.0	5.9	1.2
47	96 5391	16.6	77 9369	18.2	5.7	1.4
48	116 6792	20.9	95 8396	23.0	15.6	1.3
49	138 1558	18.4	112 4716	17.4	20.9	1.4
50	152 2094	10.2	123 9907	10.2	10.4	1.9
51	171 1525	12.4	140 3972	13.2	9.5	2.0
52	190 348	11.0	155 7032	10.9	6.9	2.0
53	208 7809	9.9	171 7785	10.3	3.8	2.2
54	225 4526	8.0	182 2069	6.1	4.8	2.1
55	245 1627	8.7	199 3352	9.4	7.6	2.0
56	259 6688	5.9	208 1566	4.4	4.0	2.2
57	272 3829	4.9	216 8591	4.2	2.6	2.4
58	284 583	4.3	228 1188	5.2	1.9	2.6
59	303 160	6.7	239 8107	5.1	2.2	2.7
60	321 1582	6.0	254 5192	6.1	1.9	2.6
61	334 6515	4.7	264 8530	4.1	0.0	2.8
62	348.4兆円程度	4.1	257.6兆円程度	4.1	0.7	—

資料：総務庁統計局「労働力調査」「消費者物価指数」、経済企画庁「国民経済計算年報」  
 (注) 1. 昭和40年度以降の「国民総生産」、「国民所得」の数値は、55年基準改訂によるものである。また、昭和62年度は実績見込みである。  
 2. 昭和46年度以降の「物価上昇率」は、帰属家賃を含んでいる。

*(C)COPYRIGHT Ministry of Health , Labour and Welfare*



## 第2編

### 第1部 制度の概要及び基礎統計

#### Ⅰ 社会保障に関連する基礎資料

#### 4 社会保障給付費

我が国の社会保障給付費は、昭和60年度で35兆円を超え、国民所得の14.1%を占めるに至っている。

第Ⅰ-4-1表 社会保障給付費の年次推移

第Ⅰ-4-1表 社会保障給付費の年次推移

区分 年度	部 門	社会保障 給 付 費 (百万円)	対国民 所得比 (%)	区分 年度	部 門	社会保障 給 付 費 (百万円)	対国民 所得比 (%)
昭和25	医 療	64,614	—	昭和45	医 療	2,075,808	3.4
	年 金	61,523	—		年 金	856,151	1.4
	その他				591,951	1.0	
	計	126,137	—	計	3,523,909	5.8	
30	医 療	191,932	2.6	50	医 療	5,688,084	4.6
	年 金	197,381	2.7		年 金	3,886,478	3.1
	その他				2,098,059	1.7	
	計	389,314	5.3	計	11,672,622	9.4	
35	医 療	294,209	2.2	55	医 療	10,658,198	5.4
	年 金	361,059	2.7		年 金	10,470,903	5.3
	その他				3,475,297	1.7	
	計	655,268	4.9	計	24,604,398	12.3	
40	医 療	913,701	3.5	60	医 療	14,162,495	5.6
	年 金	350,816	1.3		年 金	17,012,344	6.7
	その他	339,226	1.3		その他	4,471,930	1.8
	計	1,603,743	6.1	計	35,646,768	14.0	

資料：社会保障給付費は、昭和38年度までは労働省調べ、昭和39年度から56年度までは厚生省政策課調べ、昭和57年度以降は社会保障研究所調べ  
 国民所得は、昭和39年度以前は経済企画庁「昭和53年版国民所得統計年報」、昭和40～44年度は同庁「昭和55年基準改訂国民経済計算」、昭和45年度以降については、同庁「昭和62年版国民経済計算」

- (注) 1. 「年金」部門には、恩給を含む。  
 2. 「その他」部門とは、生活保護の医療扶助以外の各種扶助、児童手当等の各種の手当、施設措置費等社会福祉サービスに係る費用、医療保険の傷病手当金、労災保険の休業補償給付、雇用保険の失業給付等が含まれる。

第Ⅰ-4-2表 制度別社会保障給付費の年次推移

第I-4-2表 制度別社会保障給付費の年次推移

(単位：百万円)

区 分	年 度	昭和45年度	50	55	59	60
		(1970)	(1975)	(1980)	(1984)	(1985)
総 数		3,523,909	11,672,622	24,604,398	33,576,987	35,646,768
医 療 保 険		1,781,093	4,924,184	9,361,325	8,882,880	9,149,803
老 人 保 健		—	—	—	3,594,625	4,056,844
年 金 保 険		476,592	2,904,542	8,376,552	13,145,892	14,568,174
業 務 災 害 保 険 及 び 雇 用 保 険		289,919	1,015,305	1,558,152	2,208,335	1,990,505
児 童 手 当		—	144,435	177,765	163,662	158,937
生 活 保 護		274,293	676,414	1,155,310	1,462,479	1,502,711
社 会 福 祉		133,356	762,758	1,599,936	1,480,063	1,561,318
公 衆 衛 生		180,210	323,962	484,048	536,070	539,924
恩 給		319,993	811,080	1,700,853	1,887,569	1,902,298
戦 争 犠 牲 者 援 護		68,452	109,943	190,457	215,412	216,254

資料：厚生省政策課調べ

(注) 老人保健には医療を含む保健事業がすべて計上されている。

第I-4-3表 社会保障給付費、租税・社会保障負担率等の国際比較

第I-4-3表 社会保障給付費、租税・社会保障負担率等の国際比較

(単位：%)

国 名	社会保障給付費の対国民所得比 1983年	老年人口比率 (65歳以上人口比率) 1983年	年金成熟度 (老齢年金受給者の加入者に対する割合) 1983年	租税・社会保障負担の対国民所得比 1983年		
				租 税 負 担	社会保 障 負 担	計
日 本	14.0	9.8	18.2	23.7	10.2	33.9
1985年	14.0	10.3	20.2	24.5	10.6	35.1
ア メ リ カ	17.9	11.7	18.9	26.6	10.0	36.6
イ ギ リ ス	25.8	14.9	(1981)20.6	41.9	11.4	53.3
西 ド イ ツ	31.0	14.9	(1982)28.0	31.0	22.7	53.7
フ ラ ン ス	(1980)33.3	(1980)14.1	(1981)38.7	33.5	28.7	62.2
ス ウ ェー デ ン	43.3	16.9	32.5	49.1	19.9	69.0

資料：厚生省政策課調べ

第2編

第1部 制度の概要及び基礎統計

I 社会保障に関連する基礎資料

5 社会保障関係費

第 I -5-1表 国の予算における社会保障関係費の推移

第 I -5-1表 国の予算における社会保障関係費の推移

(単位：百万円、%)

	昭和58年度		59		60		61		62	
	当初予算額	対前年度比	当初予算額	対前年度比	当初予算額	対前年度比	当初予算額	対前年度比	当初予算額	対前年度比
一般会計 子	50,379,603	101.4	50,627,214	100.5	52,499,643	103.7	54,088,643	103.0	54,101,019	100.0
一般歳出	32,619,506	100.0	32,585,741	99.9	32,585,405	100.0	32,584,170	100.0	32,583,369	100.0
厚生省予算	9,061,468	100.5	9,249,141	102.1	9,502,763	102.7	9,772,086	102.8	10,026,528	102.6
社会保障 関係費	9,139,754	100.6	9,321,042	102.0	9,573,644	102.7	9,834,555	102.7	10,089,556	102.6
生 活 保 護 費	1,085,810	103.8	1,139,445	104.9	1,081,537	94.9	1,110,097	102.6	1,114,684	100.4
社 会 福 社 費	1,918,418	111.5	1,999,189	104.2	2,004,211	100.3	1,900,140	94.8	2,015,801	106.1
社 会 保 険 費	5,337,914	96.8	5,347,861	100.2	5,658,412	105.8	5,964,035	105.4	6,097,382	102.2
保健衛生 対策費	426,386	100.2	467,031	109.5	462,135	99.0	496,090	107.3	500,649	100.9
失 業 対 策 費	371,226	98.5	367,516	99.0	367,349	100.0	364,193	99.1	361,040	99.1

資料：厚生省会計課調べ

第 I -5-2表 厚生省所管一般会計主要経費別歳出予算額(当初)の推移

第 I -5-2表 厚生省所管一般会計主要経費別歳出予算額(当初)の推移

(単位:百万円)

	昭和58年度	59	60	61	62
生活保護費	1,085,810	1,139,445	1,081,537	1,110,097	1,114,684
社会福祉費	1,918,418	1,999,189	2,004,211	1,900,140	2,015,801
児童保護費	524,009	531,115	484,079	369,285	381,093
特別児童扶養手当等給付諸費	84,607	91,159	90,250	99,446	87,800
老人福祉費	881,411	932,257	984,113	995,114	1,112,899
身体障害者保護費	56,982	63,330	51,732	39,481	42,032
婦人保護費	2,305	2,278	1,565	1,152	1,178
社会福祉諸費	33,165	33,396	33,908	36,032	39,602
社会福祉施設整備費	102,937	85,636	82,298	82,979	83,574
母子福祉費	4,300	4,800	4,800	4,300	4,200
児童扶養手当給付諸費	222,654	249,003	265,189	265,841	256,747
国立更生援護機関	6,049	6,214	6,275	6,512	6,676
社会保険費	5,259,167	5,263,705	5,569,386	5,871,389	5,998,022
社会保険国庫負担金	726,122	722,714	681,774	664,415	676,012
厚生年金保険国庫負担金	595,170	726,694	913,528	1,587,985	1,643,572
健康保険組合助成費	5,325	5,396	5,431	5,559	11,094
厚生年金基金等助成費	9,032	11,403	15,293	3,740	742
国民健康保険助成費	2,312,654	1,991,888	2,018,870	2,106,777	2,249,356
国民年金国庫負担金	1,545,869	1,737,911	1,868,721	1,441,181	1,359,979
農業者年金実施費	953	987	1,020	1,045	1,092
児童手当国庫負担金	64,042	66,714	64,750	60,687	56,174
保健衛生対策費	424,226	464,992	461,207	495,296	499,930
結核医療費	30,483	34,457	33,138	36,998	34,101
精神衛生費	75,910	71,959	63,796	63,225	57,993
原爆障害対策費	95,166	97,325	100,995	107,269	109,723
保健衛生諸費	83,592	91,290	99,885	108,349	111,877
保健衛生施設整備費	9,268	8,979	8,670	8,122	9,715
国立病院経営諸費	98,674	129,229	122,113	137,536	142,173
国立らい療養所費	26,774	27,343	28,170	29,158	29,600
検疫所費	4,359	4,410	4,440	4,639	4,748
科学技術振興費	22,665	25,016	26,333	28,015	29,886
遺族及び留守家族等援護費	141,644	144,476	148,429	154,336	156,065
下水道環境衛生等施設整備費	157,364	156,454	154,834	153,214	150,252
経済協力費	5,552	6,005	6,220	5,775	4,780
その他	46,621	49,856	50,606	53,824	57,109
厚生省所管一般会計予算総額	9,061,468	9,249,141	9,502,763	9,772,086	10,026,528
一般会計予算総額	50,379,603	50,627,214	52,499,643	54,088,643	54,101,019

資料:厚生省会計課調べ

(注) 四捨五入のため内訳の合計が予算総額に合わない場合もある。



## 第2編

## 第1部 制度の概要及び基礎統計

## I 社会保障に関連する基礎資料

## 6 社会保障を担う人々

第1-6-1表 社会保障を担う人々

第1-6-1表 社会保障を担う人々(昭和61年)【推計数】(単位:千人)

区 分	フォーマル部門	インフォーマル部門	小 計
I 保健・医療関係者			
【医療施設】			
*医師	183		183
*歯科医師	65		65
*薬剤師	35		35
【施設以外】			
*医師	6		6
*歯科医師	1		1
*薬剤師	80		80
【看護婦等】(施設内外)	664		664
【コメディカル】( )	130		130
【保健所等】	40		40
【その他】	214		214
II 社会福祉関係者			
【施設】			
*社会福祉	177		177
*児童福祉	382		382
【福祉事務所】	47		47
【民生委員・ボランティア】		4,179	4,179
【その他】	66		66
III 公衆・環境衛生等関係者			
【食品衛生】			
*栄養士等	133		133
*食生活改善委員		163	163
【水道・廃棄物】	180		180
【環境衛生】	664		664
【その他】	98	10	108
IV 社会保険関係者			
【社会保険職員】	53		53
【社会保険労務士】	40		40
【社会保険委員】		141	141
合 計	3,258	4,493	7,751

資料：厚生省統計情報部「病院報告」、「医師・歯科医師・薬剤師調査」、「厚生省報告例」、「社会福祉施設調査」

厚生省社会局「民生委員・児童委員改選状況」、「福祉事務所現況調査」

総務庁統計局「労働力調査」、自治省「地方公共団体定員管理調査」

(注) フォーマル部門のメンバーとは、法律その他で資格や職種の定められているもので、第一線で社会保障業務に携わっている専門的な就業者であり、インフォーマル部門のメンバーとは各種ボランティア等に携わっている者である。

厚生白書(昭和62年版)

*(C)COPYRIGHT Ministry of Health , Labour and Welfare*

## 第2編

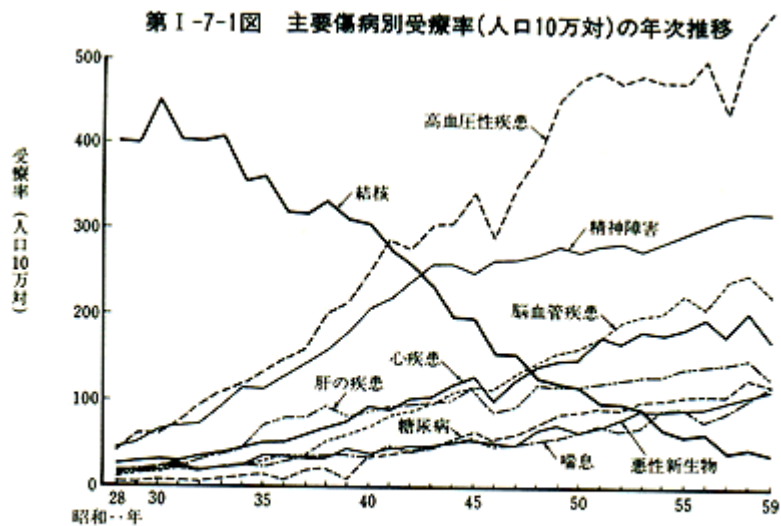
### 第1部 制度の概要及び基礎統計

#### I 社会保障に関連する基礎資料

##### 7 健康指標

##### (1) 受療率

第1-7-1図 主要傷病別受療率(人口10万対)の年次推移



資料：厚生省統計情報部「患者調査」

(注) 受療率(人口10万対) =  $\frac{\text{全国推計患者数}}{\text{推計人口}} \times 100,000$

第1-7-2表 性・年齢階級・年次別受療率

第 I -7-2表 性・年齢階級・年次別受療率(人口10万対)

	昭和30年 (1955)	40 (1965)	50 (1975)	55 (1980)	59 (1984)
総 数	3,301	5,910	7,049	6,847	6,403
男	3,503	5,997	6,586	6,555	5,902
女	3,107	5,827	7,498	7,130	6,888
0 歳	3,662	7,512	7,733	6,915	7,281
1 ~ 4	2,749	5,733	7,222	6,788	5,495
5 ~ 9	} 1,844	4,259	6,944	6,423	4,404
10 ~ 14			3,865	3,891	2,614
15 ~ 19			2,993	2,725	2,598
20 ~ 24	} 3,582	4,904	4,428	3,960	3,660
25 ~ 34	4,686	5,997	5,187	4,626	4,204
35 ~ 44	4,057	6,470	6,334	5,454	4,705
45 ~ 54	3,696	7,016	8,143	7,836	7,010
55 ~ 64	3,402	7,958	10,336	10,222	9,824
65 ~ 69	} 3,173	8,349	13,383	13,383	13,455
70 ~ 74			18,860	18,465	18,343
75 ~ 79			19,994	19,384	21,108
80歳以上	} 2,306	6,585	16,815	19,174	21,275
70-(再掲)	---	---	18,750	18,918	19,936

資料：厚生省統計情報部「患者調査」

(注) 国勢調査確定人口で算出したため、既刊の報告書とは異なる。



第2編

第1部 制度の概要及び基礎統計

Ⅰ 社会保障に関連する基礎資料

7 健康指標

(2) 栄養摂取量

第Ⅰ-7-3表 栄養素等摂取量の年次推移

第Ⅰ-7-3表 栄養素等摂取量の年次推移 (1人1日当たり)

	昭和40年	45	50	55	61
エネルギー (kcal)	2,184	2,210	2,226	2,119	2,075
たん白質 (g)	71.3	77.6	81.0	78.7	78.9
うち動物性 (g)	28.5	34.2	38.9	39.2	40.1
脂 肪 (g)	36.0	46.5	55.2	55.6	56.6
うち動物性 (g)	14.3	20.9	26.2	26.9	27.9
炭水化物 (g)	384	368	335	309	295
カルシウム (mg)	465	536	552	539	551
鉄 (mg)	—	—	10.8	10.4	10.7
ナトリウム(食塩換算) (g)	—	—	13.5	12.9	12.1
ビタミン A (IU)	1,324	1,536	1,889	1,986	2,169
ビタミン B <sub>1</sub> (mg)	0.97	1.13	1.39	1.37	1.35
ビタミン B <sub>2</sub> (mg)	0.83	1.00	1.23	1.21	1.26
ビタミン C (mg)	78	96	138	123	124

資料：厚生省保健医療局「国民栄養調査」

第2編

第1部 制度の概要及び基礎統計

Ⅰ 社会保障に関連する基礎資料

7 健康指標

(3) 栄養所要量

第Ⅰ-7-4表 日本人の栄養所要量

第Ⅰ-7-4表 日本人の栄養所要量

年齢 男女別	15歳		20歳代		40歳代		60歳代	
	男	女	男	女	男	女	男	女
エネルギー (kcal)	2,650	2,200	2,500	2,000	2,350	1,900	2,000	1,700
たん白質 (g)	85	70	70	60	70	60	70	60
脂肪エネルギー比 (%)	25~30	25~30	20~25	20~25	20~25	20~25	20~25	20~25
カルシウム (g)	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
鉄 (mg)	12	12	10	12 (閉経後 1210)	10	12 (閉経後 1210)	10	12 (閉経後 1210)
ビタミン A (IU)	2,000	1,800	2,000	1,800	2,000	1,800	2,000	1,800
ビタミン B <sub>1</sub> (mg)	1.1	0.9	1.0	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7
ビタミン B <sub>2</sub> (mg)	1.5	1.2	1.4	1.1	1.3	1.0	1.1	0.9
ビタミン C (mg)	50	50	50	50	50	50	50	50

資料：厚生省公衆衛生審議会「日本人の栄養所要量」(昭和59年8月)

(注) 1. 生活活動強度Ⅱ(中等度)における栄養所要量である。

2. 栄養所要量は健康な生活を営むために1日に摂取することが望ましい栄養量を示す。